日亜の新生産棟完成

LD専用、150～200人を雇用

本社工場内

完成したLD生産棟＝阿南市の日亜化学工業

日亜化学工業が阿南市上中町の本社工場内に建設していたレーザーダイオード（LD）の新生産棟が完成した。LD専用の生産棟は同社で初めて。生産設備を順次導入して2020年2月ごろに本格稼働させる。LDはプロジェクターなどの光源として用途が拡大しており、生産体制を強化して20年のLD売上高を500億円と、18年の約1・8倍に引き上げることを目指す。

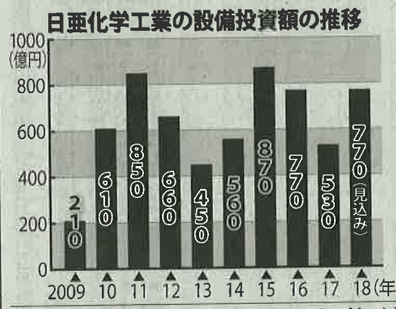
生産棟は免震構造で鉄骨8階延べ約3万平方㍍で、20年までに150～200人を新たに雇用する。投資額は生産設備などを合わせて約230億円。

LDはLEDに比べて光が遠くまで届くため、レンズとの相性がよく、制御しやすいなどの特長がある。プロジェクターや内視鏡の光源、自動車のヘッドライトといった幅広い用途が見込まれる。

日亜の18年のLD売上高は前年比22%増の278億円となる見込みで、同社全体の約7%を占める。プロジェクター向けLDでは世界の9割以上のシェアがあるという。

LD事業の拡充に向けては、応用技術開発の基礎研究を強化するため、昨年10月、横浜市の研究施設「横浜技術センター」に約56億円をかけ、新研究棟を着工。20年4月に稼働させ、センターの人員を現在の約50人から100人規模に増やす。

収益の柱であるLEDは照明用を中心に中国、台湾などのメーカーが台頭し価格競争が激しくなっている。岸明人専務取締役は「LDは市場規模の拡大が期待できる。将来的には1千億円くらいの事業に育てたい」と話した。（河野大樹）



競争力強化へ積極投資

日亜化学工業が、積極的な設備投資を続けている。LDや自動車関連のLED、バッテリー材料などの世界的な需要増や用途拡大を背景に、競争力強化や生産体制の拡充に向けた先行投資を実施。2018年の投資額は前年比45%増の770億円となる見込みで、09年以降の10年間で累計6300億円に上る。

18年はLD関連の他にも、鳴門市の鳴門工場でLEDに電気回路や制御機器などを組み合わせた応用製品の生産棟の増設に着手した。21年までに約160億円を投じ、応用製品の売上高を約130億円へと倍増させる計画だ。

近年は、LED生産の中核となっている本社工場や辰巳工場（阿南市）で毎年のように生産棟を増設するとともに、生産ラインの自動化など省力化投資を実施。スマートフォンのバックライト用LEDも、新型液晶に対応したタイプの増加が見込まれ、16～17年に辰巳工場に製造ラインを増設して生産を増やしている。

排ガスなどの規制強化を背景にした電気自動車（EV）の普及に伴うリチウムイオン電池材料の正極材などの需要拡大もけん引する。15年以降、辰巳工場内に300億円以上をかけて正極材の生産設備を増強した。

日亜は20年の連結売上高を17年の4割増となる約5千億円を目指す計画で、岸専務取締役は「積極的な先行投資を続けることで、技術力を高め、他社との競争力をつけたい」と話している。（河野大樹）

商品クリップ

アース製薬 赤字転落

上場以来初 猛暑で殺虫剤不振

18年12月期

大塚グループのアース製薬（東京）が発表した2018年12月期連結決算は、純損益が1億4200万円の赤字（前期は22[illegible]万円の黒字）[illegible]の上場以来初の赤[illegible]を記した。昨年の猛暑[illegible]で屋外レジャー需要が落ち込み、殺虫剤の販売が低迷した。売上高はベトナムの家庭用品会社を傘下に収めたことが寄与し、0・8%増の1811億400万円だった。

主な事業別に売上高を見ると、「アースジェット」や蚊取り線香など虫ケア用品部門は5・2%減の521億[illegible]

[illegible]35度以上になればほとんど活動しなくなるといわれ、蚊に刺される回数が減ったことも一因とみられる。

日用品部門は4・0%増の975億円。「バスクリン」などの入浴剤が冬の気温が高めだったこともあり前期を下回ったが、洗口液「モンダミン」などが売り上げを伸ばした。

[illegible]部内で開いた決算記者会見で、「気温が高ければ殺虫剤が売れるのが定説だったが、市場の狂いを読み切れなかった」と話した。

19年12月期は、売上高が3・0%増の1865億円、純損益は5億円の黒字を見込む。中国やベトナムで製品の拡販を目指す。

県内SO 新たに3社

三好と美波 1、2人が常駐

徳島県は14日、仮想現実（VR）コンテンツ制作や建築設計などを手掛ける県外の3社が3～4月、三好市と美波町にサテライトオフィス（SO）をそれぞれ開設すると発表した。県内のSOは12市町村64社になる。

三好市にSOを開設するのは、コンピューターサーバーの構築や運営を行う「ビヨンド」（大阪市）。3月1日から同市池田町の旧政海旅館に1人が常駐し、サーバーの保守業務を行う。将来的に3人を地元雇用する。

美波町に進出するのは、戎野朗生建築設計事務所（大阪府箕面市）と、VRコンテンツ制作・配信サービスの「ぴやまる」（東京都千代田区）。

戎野朗生建築設計事務所は3月1日に同町西河内の民家にオフィスを構え、1人が常駐する。古民家を改修した移住者向けの住宅や事務所、ゲストハウスなどを設計する。

ぴやまるは4月1日から、同町日和佐浦の協働スペース・ミナミマリンラボでVR技術の研究開発などに取り組む。当面は2人態勢で、2025年度までに10人を新規雇用する計画。（坂田佑耶）

[illegible]ま経営塾平成[illegible]ロフェッショ[illegible]と働き方改革

徳島県プロ[illegible]ナル人材戦略[illegible]月6日午後1[illegible]徳島市の徳島[illegible]グランヴィリオホテルで[illegible]開く。人材派遣会社パーソルホールディングス（東京）の市野喜久グループ営業本部シニアマネージャーが、経営者や人事担当者を対象に、中小企業の人材採用に求められるスキルや、従業員の会社への定着率を高める社風改革などをテーマに講演する。無料。定員60人。22日までに申し込みが必要。問い合わせは人材戦略拠点（電0881（635）0611）。

往来録

○…日本たばこ産業（JT）の柴山武久執行役員(52)＝写真＝が14日、徳島新聞社を訪問。においが少ない商品の開発や分煙環境の整備といった取り組みを説明し、「目標に掲げるのは、吸う人と吸わない人が共存できる社会。吸わない人にも配慮した商品や環境をつくっていく必要がある」と語った。

○…火を使わない低温加熱式たばこ「プルーム・テック」を昨年から全国展開し、今年1月には吸いごたえや味わいを深めた新商品を発表した。「日本はにおいや健康に対して敏感なのか、加熱式たばこの浸透は早い。市場全体での販売数量の2割程度が加熱式になっている」と話す。

○…三好市池田町が葉たばこ・刻みたばこの生産地だったことにも触れ、「たばこ文化や歴史、職人の技はわれわれの原点であり財産だ。日本固有の伝統として、たばこ文化を残していく努力をしたい」と力を込めた。神奈川県出身。（佐藤陽香）

初生牛市

14日速報（単位：円）全農とくしま畜産センター

	頭数	高値	安値	平均
ホルス				
メス	1	266,760	266,760	266,760
オス	14	109,080	16,200	61,174
F1				
メス	37	356,400	195,480	284,361
オス	37	448,200	60,480	350,241

【紙面編集】青木忍

商品クリップ

☆大坂選手着用の腕時計☆

シチズン時計はテニスの大坂なおみ選手が、全豪オープン女子シングルス制覇で着用した腕時計「エコ・ドライブ ブルートゥース BZ4004―06E」を3月7日に発売する。軽く快適な着け心地。近距離無線通信により、スマートフォンの電話やメールの着信を通知できる。希望小売価格は8万1000円。問い合わせはシチズンお客様時計相談室〈フリーダイヤル(0120)784807〉。

☆牛革仕上げの高級ネーム印☆

シヤチハタ（名古屋市）は高級ネーム印「ネーム9 ヴィーボ レザー セレクション」を発売した。金属製本体の側面に手作業で牛革を巻いて仕上げ、上質感を高めた。本体は黒や茶、青、赤の4色、インクが6色、書体は9種類からそれぞれ選べる。標準小売価格は8640円から。問い合わせはお客様相談室〈電052(523)6935〉。

☆大人向けチョコ菓子☆

有楽製菓（東京）は、チョコレート菓子「ブラックサンダー大人のプレミアム」を発売した。表面を覆うチョコの比率を上げるなどし、より濃厚な味わいを楽しめる。洋酒が染みこんだケーキを使い、しっとりとした食感に仕上げた。冬季限定。希望小売価格は54円。問い合わせはお客様相談室〈フリーダイヤル(0120)269355〉。

☆玄米成分配合の美容食品☆

オルビスは玄米の成分を配合した美容向け特定保健用食品「オルビス デ ィフェンセラ」を発売した。水なしで飲めるゆず風味のパウダータイプ。肌の乾燥を防ぐ効果が期待できるという、米胚芽由来のグルコシルセラミドを加えた。1・5㌘入りスティック30本で3456円。問い合わせはお客様相談窓口〈フリーダイヤル(0120)010010〉。

2020年大学院・大学・短大・高専・専門学校新卒予定者と3年以内の既卒者（2017、2018、2019年卒業の未就労者）
～県内企業から全国規模の企業まで～
就活するなら、今すぐ登録！